

大和さくら作業所を知ろう



大和駅と桜ヶ丘駅の間にある大和さくら作業所。

就労継続支援 B型の事業所です。



作業所の庭にある菜園



大和さくら作業所は昭和58年4月に開所して、平成8年に柳橋に移転してきました。開所前は、養護学校を卒業してから次に行く場所が見つからない。かなり厳しい時代でした。障がい者団体の連合会である「大和市中心身障者児童福祉団体連合会」が運営主体として、「18の春を泣かせるな」を合言葉に障害者地域作業所を作りました。
当時の大和さくら作業所は、民家1階を借りて10名からスタートしました。移転してからは20名定員です。
大和さくら作業所の開所時のパンフレットには「障害者の働く喜びと幸せを求めて・・・」という言葉が載っていたと思います。働くことにより収入を得る事だけではなく、良好な人間関係を作り心地よい場所である事。そして幸せってなんだろう・・・そんな思いを引き継ぎながら、現在に至っています。
現在の活動は、ほとんど軽作業ですが、月に1度は何らかのイベントを行っています。

さくら作業所の1日

①出勤

9:00~9:30に出勤します。

自力通所の方が多くですが、送迎の車で来る方や、ご家族と一緒に来られる方もいます。

②朝礼

ラジオ体操をしてから、朝礼をします。



③作業

お菓子箱の組み立てや、軍手の解体（軍手を解き、糸とゴムに分ける）の仕事をしています。

自主製品として、ヤマトン缶バッジを作っています。

お菓子箱の組み立て

軍手の解体

ヤマトン缶バッジ作り



④昼食

主にお弁当屋さんの仕出し弁当を食べています。水曜日はお弁当やコンビニ、出前など、自由に好きなものを食べます。



⑤帰宅

15:30に作業が終了し、当番の人が掃除をします。

15:45 帰宅します。



今日も1日、お疲れ様でした